

令和7年8月29日

二宮町教育委員会議録

(定例会・臨時会)

二宮町教育委員会

1 開 会 時 間 9 時 3 0 分

2 閉 会 時 間 1 0 時 3 9 分

3 教 育 長 名 和 田 智 司

4 署 名 委 員 古 正 栄 司

5 教育長及び委員

出欠席	職名	氏 名
○	教育長	和 田 智 司
○	教育委員 教育長職務代理者	杉 本 か お り
○	教育委員	古 正 栄 司
○	教育委員	三 好 祐 太
○	教育委員	藤 原 直 彦

6 出席者氏名	教育部長	松 本 幸 生
	教育総務課長	田 嶋 卓 司
	教育指導課長	倉 重 成 歩
	教育指導課課長代理	高 谷 松 慶
	生涯学習課長	山 下 昌 志
	教育指導課指導班長	加 藤 昭 浩
	教育総務課教育総務班長	高 橋 篤 史
	教育総務課教育総務班主事	川 名 義 紀
	教育支援室専任教諭	成 田 由 紀 子

7 傍 聴 者 2 名

8 調 製 者 教育総務課教育総務班主事 川 名 義 紀

1 開会宣言

(教育長) 令和7年度8月定例教育委員会議を開催します。

2 署名委員の氏名

古正委員を指名する。

3 教育長事務報告

(教育長) 教育長事務報告を資料に基づいて行う。

(教育部長) 8月政策会議結果報告を資料に基づいて行う。

(各課長・指導主事) 各課の事務報告・事業予定・研修内容について資料に基づいて説明する。

(藤原委員) 教育長事務報告の8月27日に行われた第2回中地区教育長会議について、3市2町でどのような情報交換が行われたのか。

(教育長) それぞれ各市町の状況は違いますが、今後の児童生徒数の減少に伴う学校の在り方について、財政も含めどのようにしたら良いのかを考え始めたと報告があった。また、児童生徒の安心安全に向けて、プールについての話題もあった。市町によっては学校施設としてプールを保有しているところもあるので、維持管理費も踏まえてどのように運営していけば良いのか意見があった。二宮町の取り組みとしては、スイミングスクールへ委託し、まずは体験をさせるということで、各校と連携しながら行っていることを報告した。

4 報告・協議事項

(1) 令和7年度二宮町教育委員会点検及び評価報告書(令和6年度事業分)について

(教育総務班長) 令和7年度二宮町教育委員会点検及び評価報告書(令和6年度事業分)について資料に基づいて説明。

(藤原委員) KGIやKPIが導入され数年が経ち、運用もその考え方も馴染んできていて良いと思う。非常に論理的に整合しているので、回答はこちらで良いと思う。検討課題としては、今回KGIの履歴を見せていただいたが、KGIとKPIにあまり連動性がないと思う。そのため、次年度について検討する際は、数値の意味を踏まえて、KPIを上げていけるよう評価制度を一緒に考えていきたいと思う。ICTについて、最適なやり方を模索している中で減少していくのは考え方として理解できる。例えば、漢字が書けなくなったら困るので、そこはタブレットじゃなくて、実際に紙とペンに変更する。最初はICTで行おうとしていたが、実情に合わせて変更するのは理解できる。しかし、二宮町教育委員会として、規程の%にしたい思いがある。そこに乖離があるのであれば、そもそもその計画値を見直さないといけないと思う。計画値の変更で例えると、教員の労働時間については、最

終的な目標が高く、中間目標との乖離が大きい。今回の目標を達成していることは良いことだが、次の目標値をどうするか、もう少し高い目標値の設定や最終目標の見直しなど別途議論が必要だと思う。内容については良いと思うが、そのうえで次年度の際に今年出た課題も踏まえて検討していきたいと思う。

（古正委員）外部評価の委員、もしくは外部評価機関について教えていただきたい。

（教育総務班長）外部委員として2名をお願いをしている。1名は民生委員児童委員協議会の副会長で、もう1名は元教育委員をお願いしている。

（2）教育講演会のアンケート結果について

（教育指導課長・教育指導課長代理）教育講演会のアンケート結果について説明。

（藤原委員）タイトルにあるような、AIとの付き合い方について話しはあったか。

（教育指導課長代理）時間の関係であまり取り上げられなかった。ただ、講師の書籍では、AIは入力するとすぐに答えが出るが、それをそのまま使うのは望ましくない。その答えをどのように使うかを考える必要があると記載されていた。

（3）教育相談および教育支援室の状況について

（指導班長・教育支援室専任教諭）教育相談および教育支援室の状況について説明。

（古正委員）Chromebookのクラスルームを使った効果的な活用について、どのような活用をしているのか。

（成田教諭）教科の課題や板書が提示されていることもある。そういったものを見るだけでも、学校の情報が入ってくる。また、合唱曲を何にするかなどのアンケートや遠足の写真が掲示されているので、どのようなクラスメイトがいるのか、どのようなことをしたのかを確認することができる。

（三好委員）2学期の準備通室について、具体的にどのようなことをしているのか。

（成田教諭）学校が始まると不安感が強まる児童生徒もいるので、その不安感を和らげるために、少しでもいいからおいでという期間であり、特にすることを設けていない。顔を出すだけでもいいように開放している。

（三好委員）自由参加となっているのか。

（成田教諭）基本的に利用する場合は、保護者から事前に連絡いただくようになっているが、自由参加となっている。昨年度5日設けていたが、参加者が少なかったので今年は2日に変更した。

（藤原委員）とても良い取り組みを紹介いただきありがたい。自己肯定感が持てない若い人が多くいる中で、経験から学ぶサイクルとして「経験学習サイクル」と言われるものがあり、実際に行い、それを内省し、教訓にし、次また頑張るというサイクルである。しか

し、この内省と教訓にする部分を自分一人ではできない場合も多くある。この部分を周りの人がサポートして、良かったところをフィードバックすることで自分自身がしっかりとできたと思える。自己肯定感を高める機会を増やすことも作戦ではあるが、なかなか増やせないのであれば、自分の中で次に頑張れる種にしてあげる、内省や教訓化をサポートすることができると良いと思う。また、直接伝えることも大切だが、第三者を上手く使ってアドバイスをすることも良いと思う。たくさんの良い経験が自分の成長と肯定感に繋がると思う。家庭に対する相談が増加しているが、どのような相談なのか、これだけ増えている理由があれば教えていただきたい。

（指導班長）生活習慣、家庭や家族との関わり課題を感じている子どもが増えてきていて、相談を受けていると聞いている。

（藤原委員）その相談は子どもからの相談なのか。やまびこのような取り組みは非常に素晴らしいと思う。しかし、それとは別の対策が必要な可能性もあると思う。これだけ家庭に対する相談が増加しているので何らかの手段を考える必要があると思うし、せっかくSOSを出しているのに、それに答えたい気がするので解決策に向けても検討できればと思う

（杉本委員）11月に大磯町教育支援室との交流会が予定されているとのことで、町を越えての交流ができるのは素晴らしいと思う。

（４）コミュニティ・スクールの運営状況について

（教育指導課長）コミュニティ・スクールの運営状況について説明。

（藤原委員）二宮小学校よりにはのみや学園として横の連携が少しずつでき始めてきたとあるが、どのような連携か。

（教育指導課長）3月に原っぱマルシェが予定されていて、その際に二宮中学校が中心となるが、他の学校運営協議会も協力できないか話し合っていた。

（藤原委員）課題について、学校運営協議会を皆が知っているからと言って、やりますとの声が上がるとは到底思えない。だから、認知度が広がっていないは課題ではない気がする。そもそも学校側としてこの組織があることが望ましいのか。

（教育指導課長）学習の協力者がいないと成り立たないという話を受けている。

（藤原委員）継続する組織であって欲しいという意見だと思う。よって学校運営協議会は必要な組織であるから、役員が足りなくなつては困るので、どのように増やしていくかだと思う。何をしているかがわからないという意味での認知度が足りないのはその通りだと思う。だから、活動内容を発信することで、まずはボランティアを増やしていく。さらにその先に、なり手という人材がいると思う。まずは在校生の保護者から伝えられると良い気がする。

(5) その他

－ 次回教育委員会予定 －

(教育総務班長) 次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について説明。

10 時 39 分 閉会